

(1) 単元名： 宜名真漁港調査隊

(2) 本時の目標： 宜名真漁港で調べたことをまとめよう。

国頭村立北国小学校。こちらも地元の定臨の教師である。教師の卵に、私の個人的な期待もある。沖縄の教員採用事情の厳しい中、ほとんどの教員免許所有者は、7月の教員採用試験までは、試験勉強に取り組み定臨やその時期の臨時的任用は断っているのが現状である。授業者のK先生は国頭村出身で以前にも奥間小学校で定臨を経験したことがある。



「負けるな！」と正直に応援したい。採用試験に向けた勉強と学校における職務の両方をこなさなければならない、大変忙しい状況での授業公開である。同僚の先生方の気遣いも重々うかがえる。年2回しか依頼できない地区の指導主事の招聘授業をさせてもらった校長先生や同僚にも感謝したい。本時に至るまでの指導案作成や授業デザイン等、K先生にとってはすでに多くの「学び」があったのではないのでしょうか。今日は、4～6年の4人の子も達との「学び」への挑戦である。

☆文中の児童生徒の名前は全て仮名である。(時間は時刻)

【 授業者は、観ていただく！謙虚な気持ちで受け入れる。】



教室がきれいになった。同僚から「アドバイスもあつたのだからいいな」とも「きれいな先生方」である。小ランの先生方を模倣してほしい。

『お・も・て・な・し』

公開授業には「拝見させていただきます。」謙虚に慎み深く、参観者が教室を訪れる。「どう受け入れるか。」である。最近流行りだした言葉ではあるが実に美しい日本語であることは誰もが認める。「お客様を向かえるにあたり、私は、教室は？」である。乱雑した教室には足も向かない、言葉も出せない遠慮が優先する妙な空気がつくられる。

『お・も・て・な・し』という言葉と同じように、私には「謙虚に慎み深く」という言葉が思い出される。

【学習後の掲示】



本時の学習前の、宜名真漁港での取材の様子が掲示されていた。学習の跡を掲示することは「振り返り」等で有効的に使われる。男の子の笑顔が素敵であるが、今日の取材相手は、この子のお父さんであった。この子の笑顔の意味がよく分かる。

どうですか？これがへき地の授業風景です。まず、隣の子とのサイズがちがいます。



13:45 学習の流れを確認

前時までの活動の振り返り、本時の学習の流れを確認する。あっさりやっているところがいい。



13:47 ワークシート配布

付箋紙に書いていた取材時の「分かったこと」や「疑問」などをワークシートに書き写す。



▲ 対話がない。みんな黙々とやる。授業者は端的な発問でつながりをつくろうとするが、簡単ではない。



13:53 【 取材時のビデオを視聴する 】



やはり動画は子ども達の食いつきが違う。ましてや自分たちの絵であるならばなおさらである。宜名真漁港で「海ぶどう」を栽培する地元の漁師さんからの取材である。

手前の海良さんのお父さんへの取材であった。どことなく誇らしげに視聴している感じがする。なんといってもやはり父である。

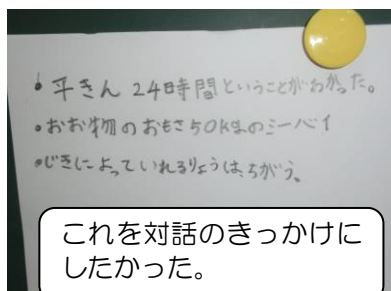
14:05 ビデオ視聴の後、気づいたことを画用紙に書く。



授業者は、ビデオの視聴後に、取材をふり返り、新たな気づきや疑問を期待して、今度は画用紙に「気づいたこと」を書くように指示した。 ▲本日 2 回目の書く



【広げる。深めるとは。】
 (例) 右下写真、4年生の男子の子のシートである。
 1. なぜ 24 時間も必要なんだろう？
 いつ寝てるんだろう？
 2. なぜ時期によって入れる量が違うんだろう？
 ↓
 仲間につなぎ、対話のきっかけにもなったのではないだろうか。



14:10 「働くこと」についてウェビングマップに書き込む。 ▲本日 3 回目の書く

4年生の男子の子にはテーマが重い、写真①、「僕はどうしたらいいの？」である。お兄ちゃんたちが書くのをずっと見つめている。

◎子どもたちの対話である (写真②)

- 涼香さんからこんなやり取りがあった。
- : 仕事は大変だね。
 - : 苦労もあるし。怪我もある。
 - : でも頑張れるのはなぜ
 - : やりがいがあるから？



この対話だけからも、いくらでも広がりや探究のきっかけを作ることができる。周りで見ているベテランの教師たちが目を合わせるが、授業者は次へ進めることで精いっぱいである。対話のきっかけはできるだけ子どもたちの言葉からつなげていきたい。授業者にも必ず見えるようになる時が来る。



14:22 これから取り組んでいきたい更なる課題を考える。

▲本日 4 回目の書く。

14:25 今日の学習の感想を書く ▲本日 5 回目の書く。
 対話の「間」が短く、書くことの多い授業デザインになってしまった。ちゃんとしたい、ちゃんとさせたいと願わない教師はいない。間違いではありません。ただ・・・子ども達は・・・難しいですね！



K 先生お疲れ様でした。大変よく頑張りました。国頭の他校の若い教師たちも頑張っていますよ。

若い教師達よ。「負けるな！めげるな！へこたれるな！」つらくなる前に、行き詰ってしまう前に、同僚の仲間達に依存せよ。大切なのは若いあなた達が、謙虚にベテランから「学んでいく」という姿勢を持つことです。日頃から気にかけてくれる先輩がいるということは、とても幸せなことです。もし、あなたのことを気にも留めてくれないようだったら、それはあなたに「あきらめ」を感じている時なのです。日頃からの同僚たちとの関わりを大切にしましょう。あなたの存在が絶対必要な「時や事」が必ずあるのです。

『若いという字は 苦しいという字によく似ている。』 武者小路実篤
 国頭学びの会ゆい